

記入例（退職後、普通徴収にする場合） 〈 特別徴収義務者指定番号欄には、市民税・県民税特別徴収税額通知書（特別徴収義務者用）を参照の上、指定番号を記入してください。〉

浜松□□が、令和5年9月30日付けにて退職して、10月分まで徴収した。
11月分以降は、普通徴収（市役所からの納付書により納付）扱いとなる。

		年度		1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度				
<p>給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書</p> <p>◎用紙が足りない場合は、コピーまたは浜松市ホームページからダウンロードしてご活用ください。</p>		<p>所在地 〒XXX-XXXX 浜松市〇区△町●</p>		特別徴収義務者指定番号	000000000					
<p>（あて先） 浜松市長 市区町村コード 浜松市 221309 令和 5 年 10 月 1 日 提出</p>		フリガナ マルマルサンギョウ		宛番号	◎◎					
<p>（特別徴収義務者） 給与支払者</p>		氏名又は名称 ○〇産業株式会社		所属	経理係					
		個人番号又は法人番号 ○○○○-○○○-○○○-○○○		フリガナ	シズオカサンカクサンカク					
				氏名	静岡△△					
				電話	(XXX)XXX-XXXX 内線 (XXXX)					
給与所得者	フリガナ	ハママツ シカクシカク		特別徴収税額 (年税額)	徴収済額	未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法	
	氏名	浜松 □□								
	生年月日	平成〇〇年 〇 月 〇 日								
	個人番号	〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇:〇								
	受給者番号	〇〇〇〇〇〇								
	1月1日現在の住所	浜松市〇区□町●								
異動後の住所	浜松市〇区□町●									
		121,000 円	6 月から 10 月まで	51,000 円	11 月から 5 月まで	70,000 円	令和5 年 1 月 9 日 30 日	1. 退職 2. 転勤 3. 休職・長欠 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 (事由・理由)	3 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者指定番号	(新規)		法人番号			新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分（翌月10日納入期限分）から徴収し、納入するよう連絡済みです。			
	所在地	〒		担当者連絡先	所属			受給者番号		
	フリガナ			フリガナ	氏名			納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	<input type="checkbox"/> 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要	
	氏名又は名称			氏名	電話			内線 ()		
理由	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため		徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)		左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分（翌月10日納入期限分）で納入します。				
	2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		月 日	円						
理由	1. 異動が令和 5 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため						※市記入欄			
	2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため						※処理年月日 _____ 年 月 日			
	3. 死亡による退職であるため						※担当者印 _____			

◎送付先 〒430-0948 浜松市中区元日町120番地の1 市民税課 特別徴収グループ（電話 053-457-2142）